

+

障害者と触れ合い交流

光井中の1年生75人



光市光井の光井中学校の1年生75人が16日、障害のある人や障害者を支援する人たちと交流を深めた。

市が障害者支援のあり方について考えてもらおうと、市内の全5中学校で取り組む講座。市内外の20

視覚障害者と一緒に盲導犬に触れ合う生徒たち＝16日、光市

70代の障害者9人と支援者16人が学校を訪れた。

生徒たちは16グループに分かれ、知的や身体、精神などさまざまな障害のある人たちのフースを回ってグループワークを行った。「生活面で困っていることはありますか」「どんなことをされたらうれしいですか」などと質問をしたり、好きなスポーツや趣味について雑談するなどして触れ合った。

視覚障害のある人と盲導犬と触れ合った坂根海咲さん(13)は「盲導犬は賢く、いろんな面で障害者の支えになっていると感じた」、平仮名が載った文字盤を使って重度の障害がある人とコミュニケーションを図った山根弘暉さん(13)は「もっと障害について知り、これから、何かの手助けをしていけたら」と話した。

+

+